

民衆の声
ボイス

No.109

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

带状疱疹
ワクチン

公費助成の定期接種へ!



定期接種化について要望 (R4年10月14日)

高齢者の健康を脅かし、生活の質を低下させる带状疱疹の予防には、ワクチンが有効ですが、これまで全国の議会では、公明党が議論をリードし、各地で独自の一部助成が導入され負担軽減が図られています。公明党横浜市議団もこうした動きと連携して「接種費用の助成」と「国への定期接種化の働きかけ」を横浜市に求めてきました(下記年表参照)。

本年6月、厚労省の専門家会議でワクチン接種の有効性や安全性が確認され、定期接種化の方針が示されました。今後、対象年齢や開始時期、助成額などを検討した上で正式決定されます。

定期接種化を求める公明党横浜市議員団と横浜市の動き

- 令和4年 5月20日 一般質問において公費助成の導入を要望
 - 10月14日 令和5年度予算要望と合わせ、定期接種化を目指すよう要望
 - 12月19日 市長が厚労省へ、定期接種化と財源措置を要望
- 令和5、6年度横浜市内での罹患状況等を調査 ———
- 令和5年 7月、11月 市長が厚労省に重ねて要望
 - 令和6年 6月20日 厚労省専門家会議でワクチンを定期接種に含める方針を了承

令和6年 第3回定例会報告

第3回定例会で決定した主な施策

市内公園を全面禁煙に (R7年4月より)



市営の地下鉄とバスに精神障がい者の運賃割引を導入 (R7年4月より)



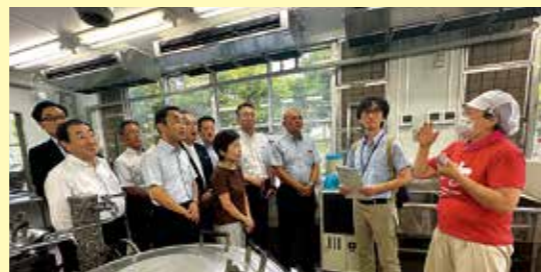
乳幼児の先天性代謝異常症等検査の拡充【2疾患を追加・検査費用無償※】 (10月から開始)



※新たに重症複合免疫不全症(SCID)及び脊髄性筋萎縮症(SMA)の2疾患を対象とした拡大新生児マススクリーニング検査を公費負担で行います。

給食調理室へのエアコン設置がスタート

市立学校の給食調理室はエアコンがなく、夏場は40度以上にもなる過酷な環境です。市議団として給食室へのエアコン設置を求めてくる中、今年度6校でのモデル設置を実現。その効果・検証を踏まえて、全校での給食室の環境改善について、速やかな検討を進めて行くこととなりました。



令和6年 第3回定例会 決算特別委員会論戦より

大雨による浸水被害対策への取り組みについて



新羽末広幹線

横浜市では、浸水対策の根幹となる雨水幹線・雨水ポンプ場といった下水道整備や、河川の改修により、大雨に対する安全度を向上させてきました。また、新羽末広幹線などの下水道貯留施設や今井川地下調節池などの河川遊水地の整備、さらには学校や公園における貯留浸透施設、開発に伴う調整池等の設置指導など、流域での様々な対策により、雨水の流出抑制の取組を推進してきました。

公明党の本会議質疑に対して市長より「下水道と河川等が連携した流域治水に、より一層力を入れて取り組む」との力強い答弁がありました。これまでの着実な取組により、水害に対する一定の安全度が確保されてきましたが、近年の雨の降り方を踏まえると、更なる対策強化が必要ではないかと考えています。

【質問】下水道と河川の連携による具体的な強化策について伺う。

【答弁】雨水幹線の整備や河川改修を引き続き推進するとともに、下水道と河川のそれぞれが持つ資源を最大限活用して、治水安全度を強化していきます。例えば、河川への流出を抑制している雨水調整池を有効的に活用することで、下流の下水道管の負担を軽減し、排水機能を強化する取組や、多くの市民の皆様にご利用頂いております河川の水防災情報システムに下水道管内の水位情報を連携させることで、利便性を高める取組を進めていきます。



神奈川公園の工事現場

横浜駅の大改造計画として進めているエキサイトよこはま22計画においては、雨水幹線及びポンプ場の整備によって、横浜の玄関口である横浜駅周辺の治水安全度を、現行の10年に1度の降雨対応から30年に1度の降雨対応に高めることを目的としています。



公明党横浜市議員

竹内 やすひろ

水辺愛護会への支援について

神奈川区を流れる砂田川では、下村橋から道慶橋間を中心に、水辺愛護会の皆様が本当に精力的に活動をいただいております。これまでの活動が認められ、今年、環境大臣賞を受賞しました。

砂田川水辺愛護会では、毎年こどもの日にあわせて「親子鯉のぼり祭り」が開催されています。近隣にある菅田の丘小学校の児童との校外学習も実施。地域とも連携し、子ども達が自然と触れ合う場も提供するなど、非常に熱心に活動いただいております。このように活発に活動している水辺愛護会がいっぱいある一方で、「なかなか思うような活動ができない」という声も聞こえてきています。

【質問】「水辺愛護会の活動をさらに支援すべき」と考えるが見解を伺う。

【答弁】砂田川水辺愛護会の会長ともお話しさせていただいて、日頃の取組みに感謝を伝えています。一方で課題もあるわけで、水辺愛護会の活動に参加していただく方



を増やすため、周辺にお住まいの方へ参加を呼び掛けるポスティングに取り組んでいるほか、草刈りの省力化を図るため、自走式草刈機の貸出しなども拡充します。

さらに、愛護会の皆様へ寄り添う「水辺愛護会サポーター」を活用した支援策を拡充していきます。水辺愛護会は本市の河川事業にとって、なくてはならない存在です。愛護会の皆様の声に丁寧に耳を傾けながら、今後もしっかりと支援して参ります。

●横浜・公明党発! 救急電話相談「#7119」が神奈川県全県下で対応可能に●

急な病気やけがで、救急車を呼ぶか、医療機関を受診するか迷ったら…

★電話で相談 #7119

または、045-232-7119 年中無休/24時間対応



市民
相談

神奈川区大口通127-16 コスガビル1F
横浜市議員 竹内 やすひろ

TEL.045-716-6822 FAX.045-716-6823
E-mail:mail@takeuchi.180r.com